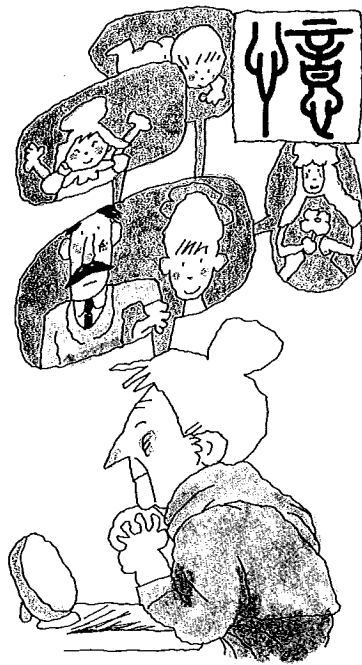


# 憶

オク

16画  
ハヤ  
悴  
憶  
憶

なりたち 本字は億。人の意をあれこれと思ひめぐらすことを表した字。また、思い出す・おぼえているの意に用いられる。また、「臆」の代わりに用いられる。オクは意のなまり。



いみじゆく  
▼思いめぐらす。  
憶測：思いめぐらして、いいかげんな当て推量をするこ  
と。(もともとは「臆測」と書  
く。)

▼おぼえる。思い出す。  
記憶：以前にあった事を覚えて  
いること。また、その内  
容。例記憶力  
追憶：以前にあった事を思い  
出してなつかしむこと。  
【用例】過去を追憶する。  
よみかた 憶説・憶病

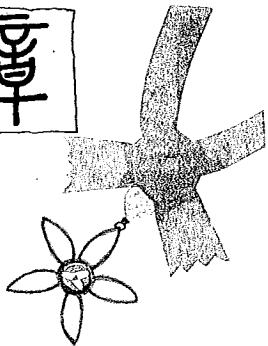
# 章

シヨウ

11画  
エ  
ウ  
产  
音  
章

なりたち 数の終わりの意味の十と音との会意字。音楽の一段落が終わることを表した字。「楽章」。転じて、文の一段とまりを「文章」という。さらに転じて、「ある意味を表したるし」の意味に用いられる。

# 章



よみかた 肩章・憲章・喪章・紋章・腕章

【3年】

いみじゆく  
▼音楽や文の一区切り。  
楽章：交響曲や協奏曲など、長い曲の大きな区切り。例第三楽章  
章句：詩や文の一区切り。また、その一区切りの文や文句。【用例】章句を書き改める。  
文章：一まとまりの文。  
序章：小説や論文などの初めの部分。  
▼しるし。  
印章：書かれたものの内容を認めたとという意味で押すしるし。  
勳章：国や社会のために功績

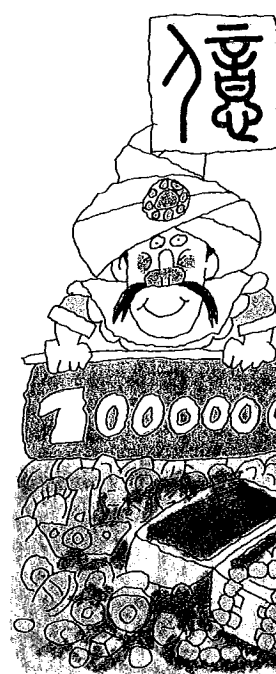
(勳)があったという、しるし。例文化勳章  
記章：①学生や会社員が帽子や襟に付ける、しるし。②記念のしるし。

# 億

オク

15画  
億

なりたち 人と意との会意形声字。(オクは意のなまり)人の心の中を「おしはかる」という意味の字で、「憶」の本字。心の中で考えるだけで実際には存在しない「大きな数の単位」を表す字に用いられる。



いみじゆく  
▼実際には存在しないような非常に大きな数。  
億万長者：普通の人には想像もできないような、ばくだいな財産を持った人。  
億兆：①限り無く多い数。  
【用例】何億兆もの星が輝く。  
②万民。人民。

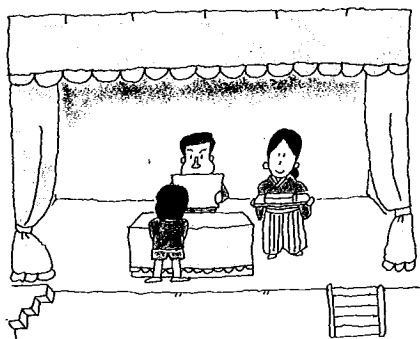
▼億は：ばくだいな数。【用例】巨億の富を手に入れる。  
▼数の名。一万の一万倍。  
よみかた 億劫(おぼ)

# 彰

シヨウ

14画  
ヤ  
产  
音  
章  
彰

なりたち 美しい模様の意味のシと章との会意形声字。シも章もあざやかに目立つので「あきらか・あきらかにする」という意味を表す。



いみじゆく

▼あきらか。  
▼あきらかにすること。  
表彰：善行や功績のあった人を、まわりにあきらかになるようにほめること。【例】表彰式  
顕彰：人の知らない善行や功績を、あきらかにすること。  
【用例】隠れた善行を顕彰する。

ミニ知識 彰義隊(一八六八年、上野の寛永寺にたてこもり、江戸城の明け渡しに反対して官軍に最後の抵抗をした旧幕臣たちの一団。一日で敗北し、壊滅する。)



# 章彰

# 憶億